

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日 時： 令和 7 年 12 月 11 日 10 時 00 分～10 時 40 分

場 所： 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委 員： 3 人

利用者代表	0 人	知見を有する者	2 人
利用者家族	0 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	0 人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者・リーダー)			3 人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	10 月	11 月
登録数 (月末時点)	28 名	27 名
男性：女性	9:19	1:2

b) 地域

	10 月	11 月
仁摩町	18 名	17 名
温泉津	6 名	6 名
大森町	1 名	1 名
五十猛町	1 名	1 名
水上町	1 名	1 名
大田町	1 名	1 名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
10 月	0	2	12	9	4	0	1	0
11 月	0	2	12	8	4	0	1	0

d) 年齢構成

	65 歳未満	65 歳以上	75 歳以上	85 歳以上	95 歳以上	平均年齢
		75 歳未満	85 歳未満	95 歳未満		
10 月	0	0	7	14	7	88.71 歳
11 月	0	0	7	13	7	88.8 歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 月当たりの平均サービス提供回数

	10 月	11 月
通いのべ人数/月 (平均)	421 人 (13.5 人/日)	387 人 (12.9 人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	175 人 (5.6 人/日)	154 人 (5.1 人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	501 回 (16.1 回/日)	361 回 (12 回/日)
のべサービス 提供回数/月	1097 回	902 回
のべ利用日数/月	851 日	838 日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 6.1 回/週	一人当たり 5.4 回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方 10月1名、11月1名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が10月4名・11月5名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
通い	○ 通常対応中 検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。 県外行き来されるご家族には自己チェックお願いしている。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、面会室を利用している
人員体制	○ 現在職員16名。欠員なし
職員の対応	○ 手洗いなどの標準予防策
業者の入館	○ 玄関対応可能な業者は玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

適宜窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整。

冬場に入り、湿度が低下。加湿器稼働中。

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

- ・12月1日にほほえみの照明を蛍光灯からLEDに変更。
- ・来年2月末までに介護ベッド3台入れ替え予定。

④過ごしやすい空間作りの取組

10月1日	リビング壁面
11月1日	リビング壁面

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

- ・10月11日 しお祭 利用者3名 職員2名
- ・10月19日 地域食堂まんまんちゃん参加 利用者1名 職員1名
- ・10月29日 ボランティア来所(助っ人ナイン) 利用者14名
- ・11月9日 仁摩町文化展 利用者9名 職員4名
- ・11月16日 大国文化祭 利用者8名 職員3名

②実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

利用者についての情報交換行った。

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

- ・地域食堂参加
- ・

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

- ・しお祭
- ・仁摩町文化展

・ 大國文化祭

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7名
処方薬の受領、支払い代行	4名
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	4回

④町内買い物代行

5名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて6名からお預りし、支払いを代行しました。
購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

10月 動画研修実施しました。

介護施設 非常災害時の対応に関する研修 防災訓練編

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

10月28日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
11月26日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行いました。

介護事故の発生状況

なし

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

① 虐待防止活動

なし

② 苦情相談

・ヘルパー訪問時に郵便物を利用者に渡した。

⇒家族様より本人に渡すと失くしてしまうので、渡さないで欲しい。

謝罪し、郵便物は触らないようにした。

意見・アドバイス

○施設長

・AIによる言語入力を導入予定。手書きやPC入力を省力化し、サービスの質の向上に繋げる。AIの利用は色々なことに恩恵があるが、依存しすぎると考える力がなくなることが懸念。

○委員

・今日ほほえみの文化展を見学した。手先が器用な利用者が多いなと感じた。私の知り合いがデイに行くようになったが、几帳面な方で畳ものをきっちりとする方。ほほえみにも几帳面な人がいますか。

→利用者によってこだわりがあるので、干し方や畳ものをしっかりとさせています。

・預り金で預貯金をおろすときはどうしているのか。

→一緒にATMに行って降ろしています。

・利用者が近所を歩いていたことがあったので、家族に連絡したことがあった。その後は無事に自宅にまで戻られた様子。その日以降はどうだろうか。

→奥様と口論になると、一人で外出することがあると聞いています。

週4回通所、週1回訪問看護 その他曜日はヘルパー訪問しています。

毎日誰かしら訪問している状況ですが、空白の時間もあります。

ほほえみの利用は問題ありません。

○大田市職員

・島根県でインフルエンザの警報がでている。県央はまだ少ないが、浜田と出

雲は罹患者が多い。手洗いなど予防対策を継続してほしい。